

(概要版)

『尾瀬学校』を生かした

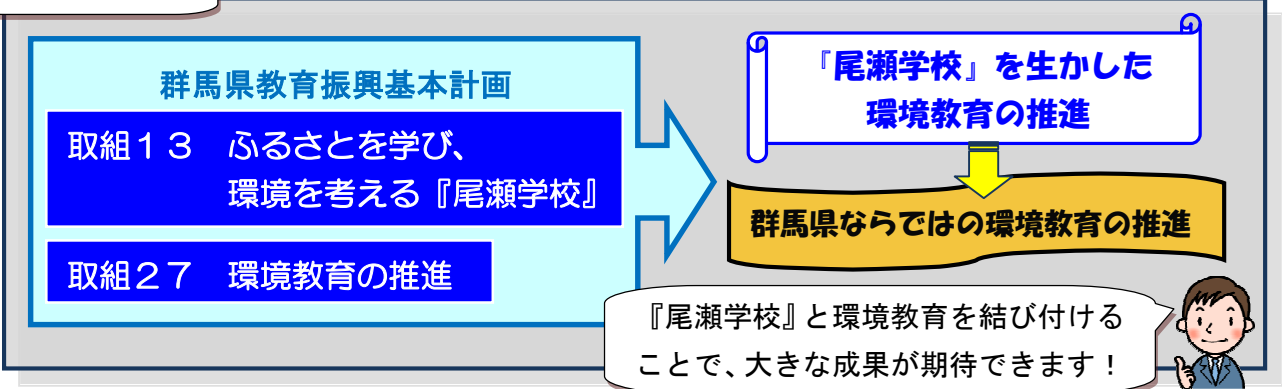
環境教育の推進を図るための調査研究

— 「事前・事後学習」に視点を当てた学習計画の作成を通して —

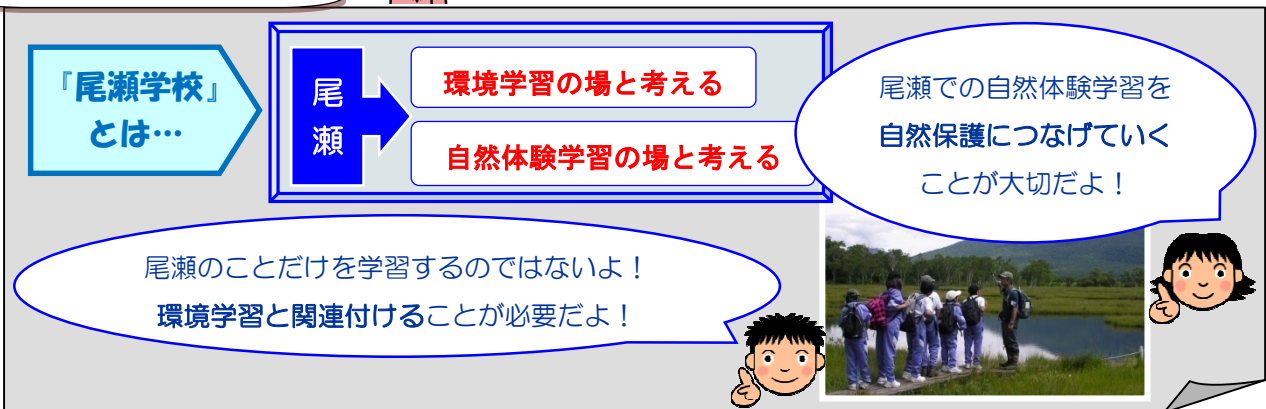


長期研修員 浅川 誠一

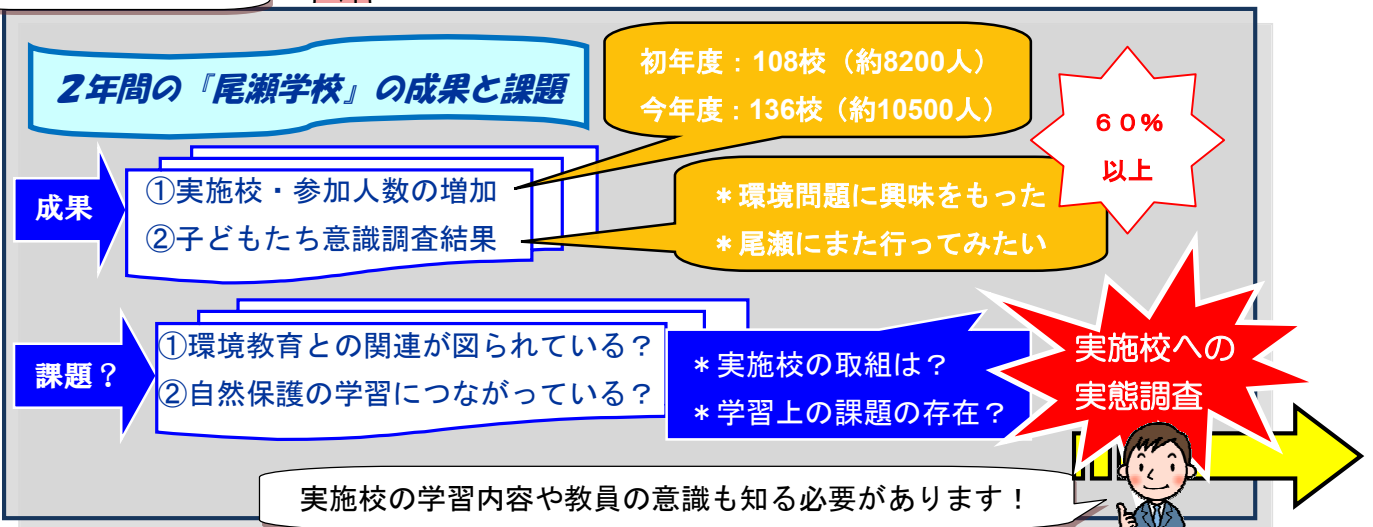
研究の背景は？



『尾瀬学校』の目的は？



目的の達成状況は？



調査結果は？



調査①

これまで取り組んできた
環境教育

各学校の環境学習

現状

成果

課題

調査②

『尾瀬学校』への
取組・学習内容



外部機関との
連携・活用状況

各教科・道徳との関連

現状

成果

課題

改善点



調査③

協力校1, 2年生への
意識調査

『尾瀬学校』
の環境学習

意識変化

行動化

調査は三つの内容について行い、実態を把握しました！

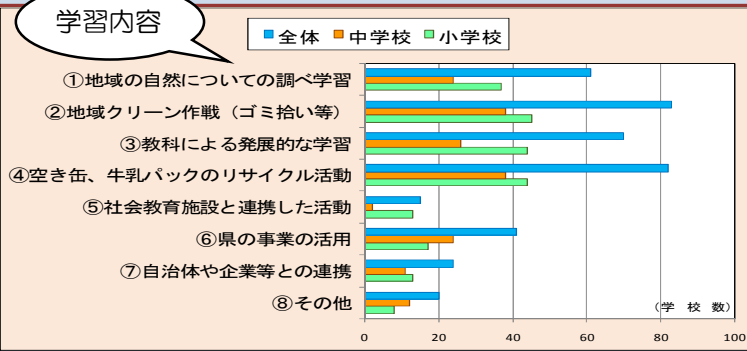


分析・解釈

調査① 結果・考察

これまで取り組んできた環境教育と
『尾瀬学校』の学習の計画的な結び付きを図る

学習内容



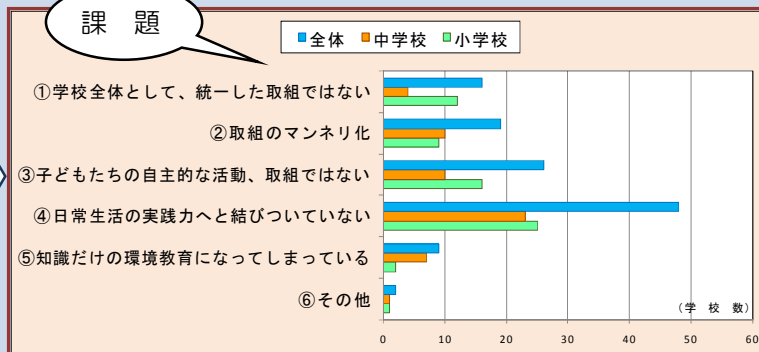
成果

- 身近な環境を学習に生かしている。
- 様々な学習を通して、子どもたちの環境への意識は高まっている。

課題

- 高まった意識が実践力へと結び付いていない。
- 取組内容に行き詰まりや改善の必要性を感じている。

課題

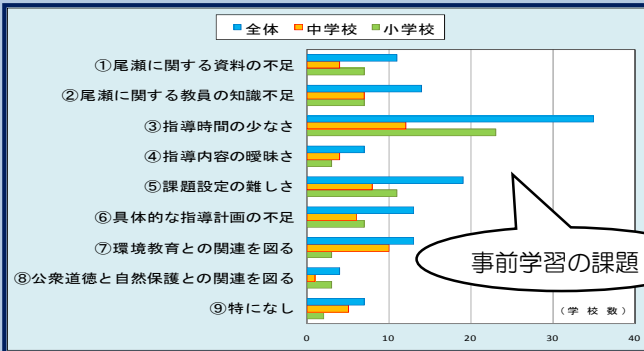


各学校とも成果は出ていますが、様々な課題もあり、学習内容等を見直したいと考えています！



調査②
結果・考察

➡ 尾瀬での自然体験学習から、環境保全のために何ができるかを考え、行動に移すことができる「事前学習から事後学習」までの一連の学習指導計画の充実を図る

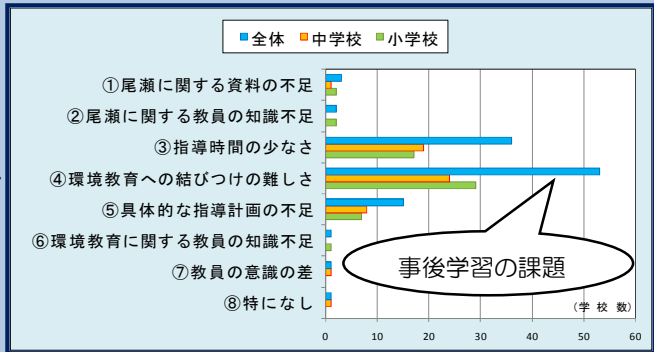


「事前学習」の課題・充実

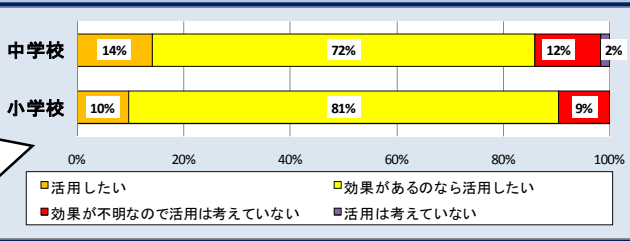
- 充実は図られていない
- 実際の指導内容が不十分
- ◎ 「事前学習」の充実が全体の学習の充実につながるため、環境教育との関連を図った課題設定を含む指導計画の確立が必要

「事後学習」の課題・充実

- 尾瀬での学習が生かされてい
- ない。
- ◎ 「事前学習」での課題解決に向け、実践力につながる手だてや身近な環境への具体的な活動を組み入れた指導計画の確立が必要



外部機関の活用希望



外部機関との連携・その活用

- ◎ 環境教育の推進につなげるために、社会教育施設や県の事業の有効性や活用方法の提示

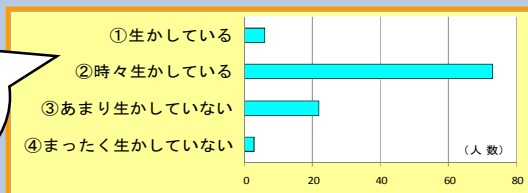
各実施校とも、『尾瀬学校』の意義は認めているものの、環境教育との関連を図っていくことに難しさを感じていることが分かりました！



調査③
結果・考察

➡ 子どもたちの身近な生活場面から活動が始められるような環境教育の推進を図る

昨年度の学習を
今も生かしてい
るか？ (2年生)



子どもたちの意識・行動

- ・ 環境についての知識は豊富
- ・ 環境保全のために行動しようとする高い意識

結果をまとめると？



実施校の課題や要望等は、次の5点にまとめることができます！ いずれも環境教育との関連が図りにくいという共通の課題を含んでいました！



調査の
まとめ

